

MAP

阿寒湖

阿寒湖原産
ヒメマス祭 会場
阿寒湖岸駐車場内
特設会場

阿寒湖岸
駐車場

阿寒湖
漁業協同組合・
直売所

(仮称)
阿寒アイヌ
クラフトセンター

阿寒湖
アイヌコタン

伝承・創造
オンネチセ

民宿
ぎんれい

あかん遊久の里
鶴雅

あかん湖
鶴雅ウイングス

ホテル
御前水

阿寒湖
アイヌシアター
イコロ

至北見・足寄

240 241
重複国道

発行元: 釧路市
監修: 一般社団法人阿寒アイヌコンサル
発行年月: 令和4年3月

このパンフレットは、国のアイヌ政策推進交付金を活用し、
釧路市の委託により制作しています。

ふれよう!

阿寒湖

アイヌ文化 Booklet

vol.1



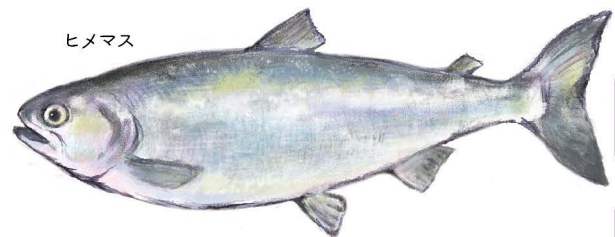
阿寒湖原産のヒメマス祭

～カパチエプノミ～

阿寒湖原産のヒメマス祭の主役であるヒメマスは、湖に生息するサケ科の魚です。

アイヌの人々は、アイヌ語で薄い魚を意味する「カパチエプ」と呼んでいます。

「阿寒湖原産ヒメマス祭～カパチエプノミ」は、阿寒湖のアイヌの人々が、ヒメマスの恵みを神々に感謝する儀式です。



ヒメマス

ヒメマス
(陸封型)

ベニザケ
(降海型)



ヒメマスは脂が乗り、たいへん美味しい魚です。ヒメマスが海に下ったものがベニザケで、ヒメマスの味が良いのはベニザケと同じ仲間だからです。

ヒメマスは支笏湖や十和田湖、芦ノ湖にも生息していますが、かつて阿寒湖から持ち込まれたもので、原産は阿寒湖です。

ヒメマスは阿寒湖漁業協同組合で販売しており、食べ方は塩焼きや刺身、ルイベがお薦めですよ。



「カパチエプノミ」では、神々に豊漁の祈願や自然の恵みに感謝するカムイノミの儀式をはじめ、アイヌ古式舞踊など様々なアイヌ伝統文化に触れることができます。

先住民族であるアイヌの人々が大切に伝えてきた文化をぜひ体験ください。



阿寒湖漁業協同組合

〒085-0467
北海道釧路市阿寒町阿寒湖温泉2丁目7番2号
TEL.0154-67-2750 FAX.0154-67-2830
<https://www.akan-gyokyo.com>



阿寒湖原産のヒメマス祭
～カパチエプノミ～

開催時期 / 例年7月第1土曜日(開催予定)
開催場所 / 阿寒湖岸駐車場内特設会場

カムイノミ

【神に祈る】

に使う

道具



イナウちくへい【木幣】

アイヌの人々が、さまざまなことを神(カムイ)に祈る(ノミ)儀式をカムイノミと言います。「イナウ」はカムイノミに欠かせない祭具の一つで、ヤナギなどの木を削って作ります。捧げる神によって種々の形があります

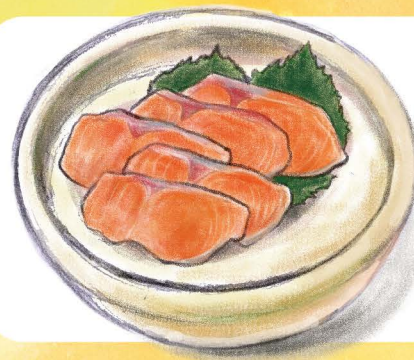
トウキとイクパスイ

ほうしゅばし
【器と捧酒箸】

神様や先祖への祈りなどの儀礼の際に用いる漆の杯を「トウキ」、お酒を捧げるために使用される祭具を「イクパスイ」と言います。カムイや先祖のもとに酒を届け、人間による祈り詞に不足がないように補ってくれる力があるとされています。



食べ物とアイヌ語

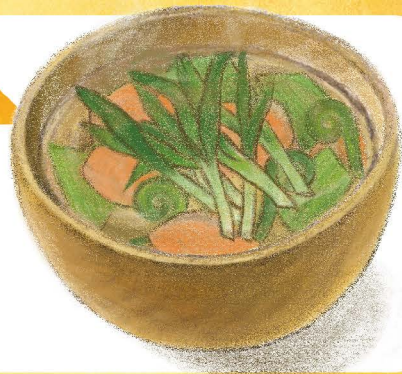


ルイペ【ルイペ】

ルイペは鮭の身を凍らせて半解凍したアイヌゆかりの食べ物です。ルイペの語源は、アイヌ語の「ル」(溶ける)「イペ」(食料)が由来となっています。

オハウ【汁物】

「オハウ」はアイヌの伝統料理で、温かい汁物のこと。アイヌの儀式では神様への供物として捧げられます。北海道の郷土料理「三平汁」も「オハウ」を元に考案されたと言われています。



キトピロ 【行者ニンニク】

北海道の代表的な山菜「行者ニンニク」は、古来からアイヌの人々も薬草や滋養食として用いていました。北海道ではジンギスカンはじめ様々な料理の食材に使われています。



アイヌ文様

[刺繍]



アイヌが身に着ける衣服には、「モレウ(渦巻きの形)」や「アイウシ(とがった形)」と呼ばれる独特の文様が施されています。文様は地方や家系によって特徴があり、祖母から母、母から娘へと伝えられました。

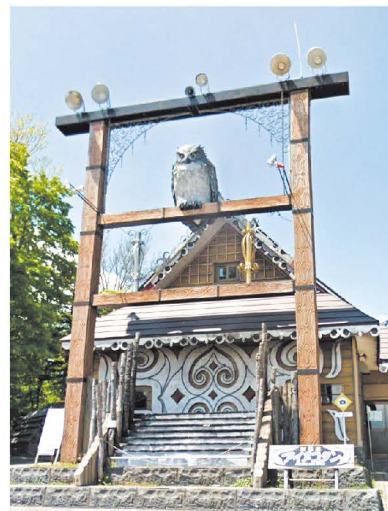


アイヌ文化施設の紹介

伝承・創造

オンネチセ

阿寒湖アイヌコタンの坂の上にある「オンネチセ」では、アイヌの人々の伝統的な祭具や生活用品、工芸作品、アート作品が展示されています。



アットウシ^{じゅひい} [樹皮衣]

儀式で見ることができる伝統的衣装のアットウシは、オヒョウの木などから糸を作り、その糸を使って作られています。オンネチセで見ることができるので、ぜひご覧ください。

伝承・創造 オンネチセHP ▶





ムックリ^{こうきん}[口琴]

竹製の薄い板に紐を付け、口にくわえ振動させて音を出すアイヌの楽器です。音程はほぼ一定で、口の形を変えることで、微妙に音色を変化させます。



アイヌ 伝統楽器

トンコリ^{ごげんきん}[五弦琴]

アイヌに伝わる伝統的弦楽器で、通常、弦が5本あることから「五弦琴」と訳されています。木製で抱き抱えるように持ち両手で演奏します。



アイヌ古式舞踊

フッタレチュイ

「黒髪の踊り・

松の木の前踊り」



フッタレチュイとは、女性がしなやかに体を揺らし、長い黒髪を大きく振って踊る舞踊です。風に揺れる松の木を表現しており、長い時間激しく踊り続けることから、別名心臓やぶりの踊りと呼ばれています。



阿寒湖アイヌシアター「イコロ」

プロジェクションマッピングと古式舞踊を融合させた「ロストカムイ」や「火のカムイの詩」など、多種多様なアイヌ舞踊を鑑賞することができる劇場です。知的好奇心を満足させ、エンターテインメントあふれる施設です。

阿寒湖アイヌシアター「イコロ」▶



動物とアイヌ語



コタンコロカムイ
[シマフクロウ]

アイヌの人々にとってシマフクロウは村を守る神とされ崇められてきました。阿寒湖アイヌコタンやアイヌシアターイコロの入口にも、シマフクロウの大きなモニュメントが掲げられています。



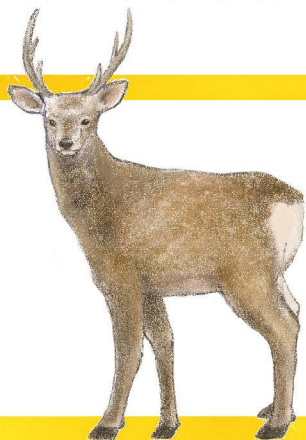
キムンカムイ[ヒグマ]

アイヌ語で『キムン』は「深山の」、「カムイ」は「神」。アイヌにとってヒグマは山の神様であり特別な生き物です。アイヌの伝統的な祭祀「イオマンテ(熊送り)」はヒグマの魂を神の国に送り返す儀式です。



ユク[エゾシカ]

阿寒湖の森には数多くのエゾシカが生息しており、道ばたにもよく出没します。肉はジビエ料理として、角や毛皮はアイヌの工芸品やお土産品などに加工されています。



秋のイベント紹介

まりも

祭り



「まりも祭り」は阿寒湖で毎年10月に開催され、昭和25年(1950年)から行われています。特別天然記念物のマリモを無断で採取しないよう啓発する環境保護的な意味と、自然と共生し生きてきたアイヌ民族の自然を大切にする思いが合わり始めました。

「まりも祭り」ではマリモを湖に帰したり、全道からアイヌの人々が集い、たいまつで行進や、“踊りくらべ”というアイヌ舞踊が披露され見応えたっぷりです。

